

製品名: LRP1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86486**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.51mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:85 kDa; Observed MW:85 kDa

抗原情報

遺伝子名	LRP1
別名	APR; KPA; LRP; A2MR; CD91; APOER; LRP1A; TGFBR5; IGFBP3R
遺伝子 ID	4035
SwissProt ID	Q07954
免疫原	ヒト LRP1 の合成ペプチド

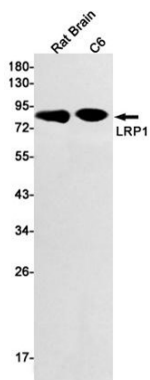
背景

この遺伝子は、低密度リポタンパク質受容体ファミリーに属するタンパク質をコードしています。コードされているプレプロタンパ

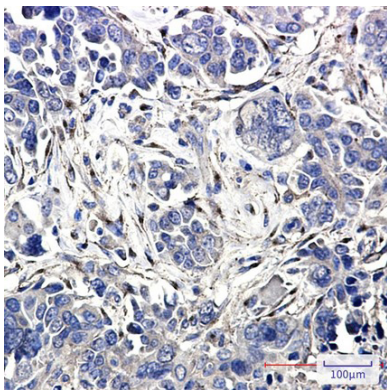
ク質は、フーリンによってタンパク質分解され、成熟受容体 (PMID: 8546712) を形成する 515 kDa および 85 kDa のサブユニットを生成します。この受容体は、細胞内シグナル伝達、脂質恒常性維持、アポトーシス細胞の除去など、様々な細胞プロセスに関与しています。さらに、コードされているタンパク質は、分泌型アミロイド前駆体タンパク質およびアルツハイマー病患者にみられるアミロイドプラークの主成分である β アミロイドの、 $\alpha 2$ マクログロブリンを介した除去に不可欠です。この遺伝子の発現は加齢とともに低下し、アルツハイマー病患者の脳組織では対照群よりも低いことが分かっています。[RefSeq 提供、2015 年 10 月]

研究分野

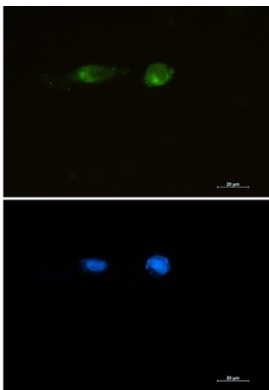
画像データ



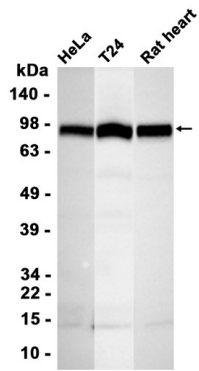
LRP1 抗体 (1:1000 希釈) を使用したラット脳 C6 細胞溶解物中の LRP1 のウエスタンブロット検出。



AMRe86486 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト胆管癌の免疫組織化学分析。



AMRe86486 抗体 (緑) と DAPI (青) を使用した U87-MG 細胞の免疫蛍光分析。



AMRe86486 を 1:2000 で使用して、HeLa、T24 細胞、ラット心臓組織からの抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。